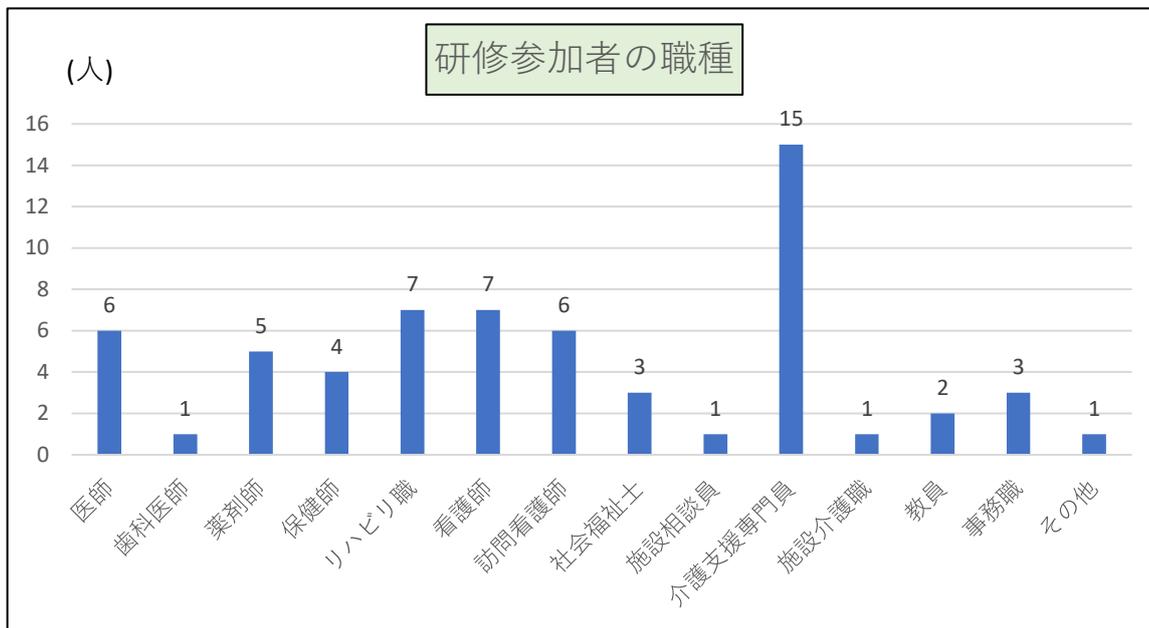


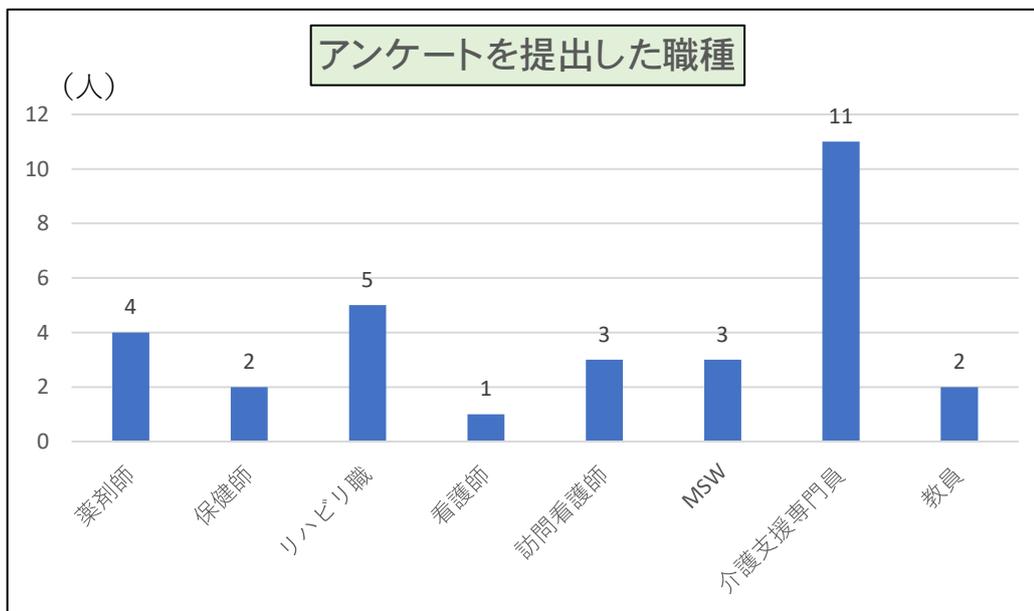
令和4年度第2回多職種連携会議・人材育成研修会 研修後アンケート集計

参加者数：62名

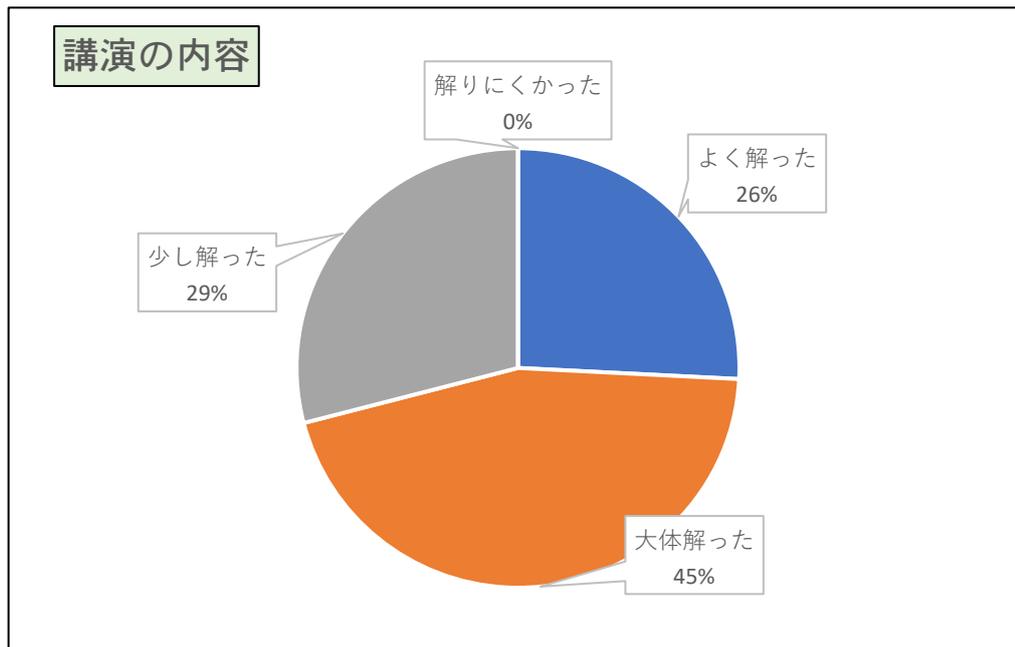


アンケート回答者数：31名

1 職種



2 講演の内容について



3 学んだこと、考えたこと、役立てたいこと、感想など

- ・分かり易く教えていただきありがとうございました。在宅療養での注意点を教えていただき良かったです。血圧や体重測定的重要性がわかりました。また、自覚症状について情報収集し、以上に早く気付くことも重要だとわかりました。(訪問看護師)
- ・循環器の基礎知識や最新の治療に関して詳しくわかりました。在宅で可能な臨床判断や心不全管理、呼吸管理、水分管理のバランスが非常に難しいと思うので、理学的所見などが分かり良かったです。ありがとうございました。(教員)
- ・下肢の浮腫があっても必ず心不全であるとは限らない。むしろ少ないということ。そういう方は利尿剤を使用せず、下肢を心臓より高くする。利用者から相談を受けた時に役立つし、病院受診の際の目安にもなると思います。(介護支援専門員)
- ・体重コントロールを中心に考えることを学びました。
- ・長谷川記念病院でされている訪問診療の実態が知れて良かったです。当院で訪問を行っているので、参考になりました。(MSW)
- ・心臓の解剖から働き、病態に至る理由など、平易な言葉で解説いただいたので、なるほどと思いながら聴講できました。先生方の処方理由も考えながら納得した調剤ができればと思います。(薬剤師)
- ・心不全の治療で先生が気を付けておられることがわかってよかったです。(介護支援専門員)
- ・資料もとても見やすく良かったです。下腿測定については知らなかったもので、一度教えてもらいたいと思います。心不全の利用者を看護することがありますが、漠然としたものになってしまい、ポイントを絞り切れな感じていました。この講演を聴いて、家で苦しい、身の置き所がないようになれば受診ということがわかり、今までの看護で良かったんだと思いました。これからはっきり身体をみていきたいです。(訪問看護師)

- ・BNP 高値の高齢者の体調管理と入浴介助で訪問しています。自覚症状を聴いたり、浮腫の程度を見たり、呼吸の乱れのチェックなどいろいろと観察して次の訪問まで安定した状態で過ごせるようアドバイスを行っているつもりではいます。BNP が急に上昇すると、どのようにアドバイスすればよいかと悩んでいました。今回の講演を聴くことでチェック項目にずれがないことがわかり、今後も看護指導し、在宅生活者が安心して過ごせるよう支援していきたいと思います。(訪問看護師)
- ・解剖学から教えてくださり、心臓のしくみを改めて学ぶことができました。大動脈弁や肺動脈弁、僧帽弁、三尖弁、心房や心室の動きもとても分かり易かったです。血圧や体重、脈拍をきちんと記録することが大切だとわかりました。患者さんをよく観察し、症状があれば病院受診を勧めていこうと思いました。(介護支援専門員)
- ・本人をよく観察することが大切ということを再認識できた。長谷川記念病院が訪問診療に力を入れてくださっていて本当に心強く、ありがたいと思った。新見には高垣先生のような先生が必要だと思います。(介護支援専門員)
- ・久しぶりに心疾患について勉強させていただきました。循環器の先生のお話を聞く機会がありませんでしたので非常に良かったです。新見市内にも循環器に特化した医師がいらっしゃることはとても心強いです。ぜひ、これを機会に糖尿病と心不全予防を取り組んでいただきたいと思います。今回は医療職にとっては分かり易い研修会でしたが、医療職以外は少し難しかったかもしれません。(教員)
- ・水分管理や体重管理などできることから始めて、関係機関と連携していき、利用者の安定した生活を支えられるようにしたいと思いました。(介護支援専門員)
- ・在宅で心疾患の方が安心して過ごせるのは本当にうれしいです。体重測定できる方法あればいいですね。(リハビリ職)
- ・わかりにくい分野でもあるので興味がある。内科的治療について良く分かった。(訪問看護師)
- ・循環器の基礎知識から症例を交えて、どのような考えで診療をされて、処方薬を考えられているか講演していただき、大変勉強になりました。(薬剤師)
- ・普段の業務の中で全身状態についてみることの重要性を学ぶことができました。(MSW)
- ・循環器の症状が出ている方へのリハビリについてとても勉強になりました。今後の臨床の参考にしたと思います。(リハビリ職)
- ・心疾患で着目すべき注意点が、理論背景を踏まえて教えてくださり、分かり易かった。今後の臨床で大いに役立つと思います。(リハビリ職)
- ・治療対象が高齢者で心疾患をかかえる方々が多いため、バイタル以外にも体重の変化や水分摂取量等に関し、いつも以上に注意しながら業務に取り組もうと思います。貴重な情報の提供をありがとうございました。(リハビリ職)
- ・寝る時(自宅で休む時)は、座布団 2 枚重ねた状態で足の下に置くこと。立ちっぱなしや座りっぱなし、同じ姿勢はいけないこと。(介護支援専門員)
- ・心不全についてとても勉強になりました。分かり易かったです。(薬剤師)
- ・薬の量を検査データなどではなく、経験や勘で決める場合があるというのが意外だった。(薬剤師)
- ・生理学的なところは難しかったですが、困った時に個人(患者)について相談すれば、在宅生活をする上で指示がもらえるのだという安心感が持てました。訪問診療部に相談します。(保健師)
- ・心疾患については難しい内容でしたが、訪問診療について情報を知ることができました。相談したいと思いました。症状は様々で、症状が患者さんのアラームというお話があり、いつもと異なる症状に

は特に気を付けるように見落とさないようにしたい。(介護支援専門員)

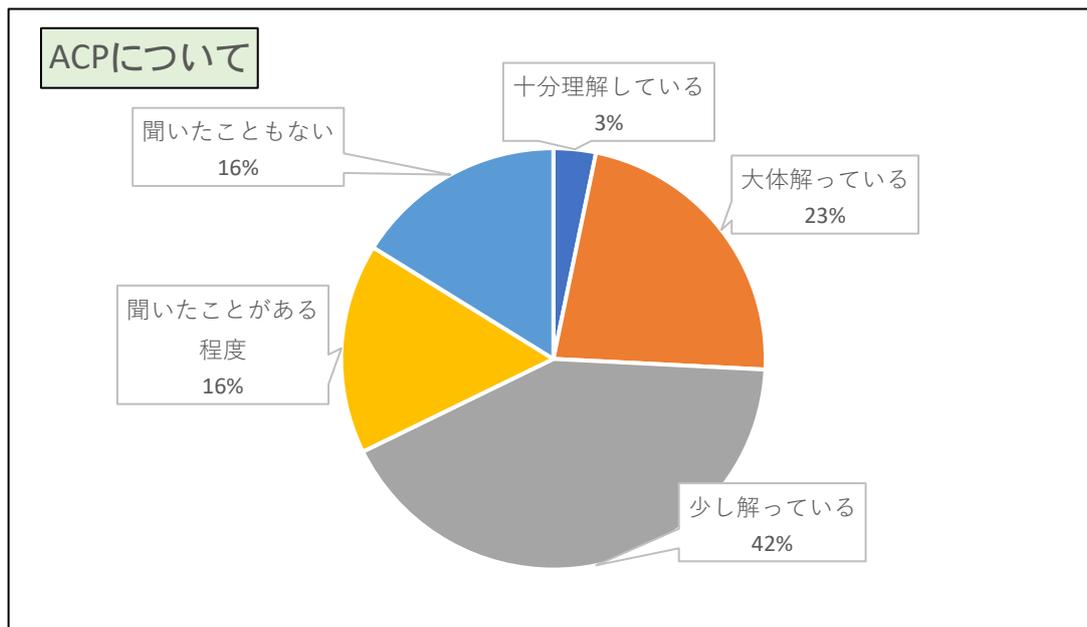
- ・専門的な内容が多かったが、何故心不全が起こるのか、機序部分から丁寧に説明していただき、心疾患に対する理解が深まったと思う。高垣先生の「患者をきちんと診る」といった基本的な部分を大切にしておられる点に感動した。検査値や精密機器だけに頼るのではなく、田舎の高度医療が整っていない地域だからこそ高垣先生のような考えやスキルを持った医師が必要だと感じた。(保健師)
- ・むくみや呼吸困難だけでなく、血圧・体重・水分等、日常のことにも目を向けて観察したい。(介護支援専門員)
- ・分かり易く教えていただきありがとうございました。在宅療養での注意点を教えていただき良かったです。血圧や体重測定の重要性がわかりました。また、自覚症状について情報収集し、異常に早く気付くことも重要だとわかりました。(訪問看護師)
- ・何らかの症状があった場合にはまず診察を受けることが必要で、心臓のどこが悪いのかの確定をしないといけない。素人判断では分からないと思いました。自宅で管理できることは体重管理と水分管理と呼吸管理との話だったので、診断を受けている人にはそこを勧めていこうと思いました。話の内容は少し難しかったが、心臓のしくみが分かったので良かった。(介護支援専門員)
- ・心疾患については、仕事上、私生活においても身近な病気として関心がありましたが、一部しか理解できておらず、病名、症状、注意点の知識しかなかった。今回、高垣先生の講義で心臓に関する注意点等が良く分かった。(介護支援専門員)
- ・先生の地域医療に対する考えが分かり良かったです。心臓疾患について知ることができ、浮腫=心不全ではないこと、体重管理の大切さを勉強できました。(介護支援専門員)

4 今後取り上げて欲しい研修テーマ等

- ・看取りケアについて
新見市内での訪問診療、訪問看護の十分な支援が無くては施設での看取りは行えない。検討してほしい。
- ・在宅移行における食事介助や食事に関する家族への指導について。
コロナ禍にて、入院中の家族指導が困難な状況が考えられるので、新見市内の病院や施設で具体的にどのように実践されているのか、また指導上の注意点など知りたいと思いました。
- ・脳梗塞を発症し、後遺症がありながらも在宅で支援を受けながら自立した生活をされている方の取り組み紹介。
- ・新見市内の障害者支援の実情について話を聞いてみたいです。
- ・脳神経内科的疾患(パーキンソン症状等)、泌尿器科系疾患についても講演があればうれしいです。
- ・リウマチやヘルペスなど
ちょっと身近な病気でも進行したら怖いと思うので勉強したいです。
- ・今後の新見市の往診(訪問診療)について考えて欲しい
- ・今回の講義に引き続き、心不全ターミナルについてももっと知りたいと思う。症例発表も聞きたい。
- ・予防歯科や虫歯が健康に与える影響について取り上げていただきたいです。
- ・各病院における看護の仕事(内科、整形、外科)、看護師の着目ポイントを知りたい。
- ・高垣先生に心臓、肺などと水分の関係をお話しいただきたい。

- ・地域包括における看護業務の役割に関して
 病院独自のものなのか、個人各々の判断なのか、看護協会である程度決まったものがあるのかどうか。
- ・眼科(白内障、緑内障、黄斑変性)について
- ・在宅医療・介護での多職種による連携している実践例の紹介
- ・人権擁護の話。委託している中核機関の紹介

5 ACP について



十分理解している	1
大体解っている	7
少し解っている	13
聞いたことがある程度	5
聞いたこともない	5

(人)